

やさしさに包まれて



お話しいただいたのは
近藤 嘉人 先生

☆ある日の出来事

2才の女の子。お口のチエックでは泣き声が出ますが、ママに抱っこされるとピタリ泣き止みます。今日も歯科衛生士がヒザ上に女の子を抱きかかえてフッ素塗布をしますが、やはり声

が……。すかさず受付が絵本を開き、ゆっくり大きな声で話しかけます。「ば〜」とくるくるくる〜」。歯科衛生士も「どこにいるかな〜」。すると、女の子は絵本を指さし始め

ます。ママが「そうだね、よくわかったね〜」とほめているうちに、泣かないでマウスピース法のフッ素塗布ができました。私は、その光景を見て「脳の発達」という視点から、とってもいいことだと感じました。

☆コロナ禍で

最近、アメリカで興味深い調査結果が報告されました。

新型コロナウイルス感染拡大前に生まれた3カ月〜3才の子どもの認知機能を100とすると、拡大中に生まれた子どもたちでは78程度に低下していたのです。詳しい検証が必要ですが、子どもたちの学びの場が奪われているのは、確かなようです。

☆感受性期

脳の発達には、環境の影響を特に受けやすい時期があり、「感受性期」といいます。就学前の乳

幼児期が重要ですが、視覚と聴覚は、生後数ヶ月から環境の影響を大きく受けます。

「それなら、スマホで動画を見せるのは効果があるんじゃないの?」と思われるかもしれませんが、確かに、スマホは目や耳を刺激して一瞬の興奮をもたらしますが、「心地よさ」は与えていないようです。

☆にんげんだもの

ヒトは「群れる」ことで生き残ってきました。そのため、他人と関わるのが「心地よい」と感じるように進化しているそうです。

赤ちゃんが「他人と関わる」ことは、なでられる・抱っこされるなどの触覚、表情を見る視覚、話しかけられる聴覚、体を動かして周りの反応を感じとることも含まれます。その多くは授乳時に同時におこなわれるため、赤ちゃんはママのそばが「心地よい」と安心するのです。

☆絵本と図鑑

授乳後の「心地よい」刺激は、スマホを見せる

だけでは得られません。周りの大人や兄弟、祖母などが関わる必要があります。それには、見るだけでなく手に持つ、紙を触る、ページをめくるなどの動作をとまなう絵本と図鑑がおススメです。

診療室にいったばい取り揃えていますので、絵本や図鑑を囲んで、お子さまが楽しくワクワクする時間を過ごしてみませんか?



●情報クリップ●

「絵本の日エピソード大賞 授賞式」はYouTubeで配信中です。ぜひ心温まるエピソードをご覧ください。詳しくは「絵本の日」ホームページで。「こどもの歯科」ホームページからもアクセスできます。

医療法人 元気が湧く
こどもの歯科

診療科目 小児歯科・矯正歯科
診療時間 ●診療時間 9:00~18:15
●昼休み 平日12:30~14:00
土日13:00~14:30
●休診 木曜・祝日(土日診療)
先生経歴 H2 九州大学歯学部卒業 九州大学歯科矯正学講座入局
H8 日本矯正歯科学会認定医取得 小児歯科はまの勤務
H19 こどもの歯科に名称変更 院長に就任

福岡市南区大橋3-2-1 大橋プラザ2F
(市営 大橋駐車場をご利用ください)

☎092(551)8080

ホームページ <http://kodomonoshika.com/>

